

本研究科博士後期課程1年のシエレ・ウェルドン君（Siele Weldon、ケニア）は、以前から日本とアフリカを結ぶボランティア活動をおこなっていましたが、今回のコロナ禍に際して、友人2人とあわせて3人で、クラウドファンディングによって日本で資金を調達し、再利用可能マスクや生活必需品をケニアの学校に寄付する活動を企画しました。2020年12月にケニアに帰国した際、それらの品を各学校に配布し、現地で広く報道されました。しかし、まだまだ多くの学校でマスクや生活必需品を必要としているようで、ウェルドン君は、今後も、大学院で研究活動を頑張るだけでなく、母国を支援する活動に携わるということです。

